

# 公開講演会

平成30年 **10月13日** 土

会場／森林総合研究所東北支所 大会議室

盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-25 TEL 019-641-2150 <https://www.ffpri.affrc.go.jp/thk>

入場無料  
一般公開同時開催

10:20 ▶ 10:40

## 「カラマツ林土壌に溜る温室効果ガス」

東北支所 森下 智陽

今、地球温暖化が問題となっています。温暖化を助長するガスには、いくつもの種類が知られていますが、これらのガスがカラマツ林などの土壌中で、どのような挙動を示すかを明らかにしました。今回は、そのいくつかのガスについて、土壌中での生成や消失のメカニズムを紹介します。

10:40 ▶ 11:00

## 「生活環境を守る海岸防災林のはたらき」

東北支所 萩野 裕章

森林は様々な災害抑止のはたらきを持つといわれていますが、今回は海浜で発生する砂塵（飛砂）や強風を和らげて、内陸の農地や住宅を守っている海岸防災林のはたらきを最近の観測やコンピュータシミュレーションを用いて紹介します。



13:00 ▶ 13:20

## 「クマの種まきが野生のサクラを温暖化から守る？」

東北支所 直江 将司

自分では動けない植物は、動物や風などにタネまきしてもらうことで移動します。わたしたちは、クマが野生のサクラの果実を食べ、山の高いところにうんちをしてタネまきしていることを明らかにしました。クマが知らず知らずのうちにサクラが寒い場所に移動する手助けをしていることについてお話しします。



13:20 ▶ 13:40

## 「森づくりは良いタネから」

林木育種センター東北育種場 宮本 尚子

成長が良いことに加えて、花粉が少ないことや病害虫に強いことなど、時代のニーズにあった性質をもつ木のタネを生産するために行っている取り組みを紹介します。

主催